



北電情報システムサービス株式会社様

お話を伺ったのは
こちらの皆さま



石川 憲一 氏
ITサービス部
IT技術グループ
基盤SI第2チーム



岡野 孝平 氏
ITサービス部
IT技術グループ
基盤SI第2チーム



守谷 友克 氏
営業部 営業推進グループ
富山ソリューションセンター
次長

従来型仮想化基盤構築の経験を基に、検証機で各種技術検証を行った上で自信を持ってNutanixでお客様のITインフラ環境をトータルにご支援

組織概要

北電情報システムサービス株式会社の「IT技術グループ 基盤SI第2チーム」では、主に自治体・一般企業や、北陸電力グループのお客様へIT基盤やクラウドサービスの提案、設計、構築、運用支援を行っている。

従来はオンプレミスのIT基盤が中心だったが、近年はクラウドサービスを含めて、お客様のIT環境をトータルでご支援している。

Nutanixへの取り組み

元々は、従来型の3Tierの仮想化基盤を提案・構築していたが、年々Nutanixの存在感が北陸地方でも強くなっている事を体感し、お客様からも「Nutanixを指名」される事が増えて来たため、本格的にNutanixに取り組む事になった。

Nutanix社が開催するセミナーに参加して知識を得たり、検証機を活用して様々な技術検証も行った結果、「お客様に自信を持って提案できる優れた製品」と評価し、導入を開始した。

また、従来型の仮想化基盤の構築経験があるメンバーのため、Nutanixの学習コストも少なく済むため、スムーズに取り組む事ができた。

お客様がNutanixを採用するメリットとして、主に以下の4点があると強調している。

(1) 仮想化基盤としての安定性

SDS (Software Defined Storage) や分散ストレージは安定性やパフォーマンスに難があるというイメージがあるが、Nutanixの分散ストレージ技術であるAOSは非常に安定しており、高パフォーマンスである。また、ハイパーバイザーであるAHVも競合製品と比較しても重大な不具合が少ない印象。Nutanixを導入する事で安定性の高い仮想化基盤の構築が可能に。

(2) 簡単なバージョンアップ

Nutanixの各種ソフトウェアは管理画面 (Prism) で簡単にバージョンアップを行う事が可能。従来型の3Tierの仮想化基盤の場合、仮想化基盤を構成するサーバやストレージの対応状況を調べたり、場合によってファームアップが必要なため、非常に大仕事だったため、昔は仮想化基盤はバージョンを固定した塩漬け運用が多かった。しかし、昨今のセキュリティや技術革新への追従を鑑みた、仮想化基盤における必要な定期的なバージョンアップといった点などを含めて、Nutanixを優先的に推奨している。



Nutanixへの取り組み

(3) DR (災害対策)機能の容易さ

従来の3Tier型の仮想化基盤で災害対策 (DR) を実現する場合、様々な方法がある一方で、シンプルさに欠け、対応手順が非常に複雑になる傾向があった。

せっかくDR対策を実装したとしても、実際に災害が起きた時に技術者と連絡が取れない等で、対応ができないのであれば本末転倒だが、Nutanixであれば技術者ではなくともDR切替操作を簡単に実施可能である。

(4) Nutanix Files を用いた高性能/高機能なファイルサーバ

Nutanixは仮想化基盤だけではなく、スケールアウト型のファイルサーバである Nutanix Files が利用可能。

Nutanix Files を使えば高性能で可用性の高いファイルサーバが簡単に構築できる事に加えて、ファイル分析ソフトウェアであるFile Analyticsも利用できる。

File Analyticsでは、ファイルサーバに格納されているデータの分析やアクセス履歴をGUI画面から簡単に確認することができるため、旧来のWindowsファイルサーバや専用NASからのステップアップをお考えのお客様に推奨している。

事例のご紹介

とある自治体のお客様では、ファイルサーバの容量が年々大きくなっており、バックアップに長い時間がかかるようになっていた。また、万が一、大規模災害等でシステムリストアが必要になった場合においても、復旧まで最大数日かかるという課題があった。

この課題に対して、Nutanix および Nutanix Filesを導入する事で、バックアップ時間の短縮、遠隔地へのレプリケーション機能を用いたDR機能を実現する事ができた。この実現したDR機能は、職員様自身でも切替操作ができるため、お客様の業務継続性を大幅に高める事ができた。このような簡単にDR切替ができるのはNutanixならではの利点である。

鉄人(スーパーSE)のご紹介

石川 憲一 氏

2014年より現職で、主にインフラの構築・提案をご担当。新しい技術を探るのが好きで業務時間外でも、世の中のIT情報を収集している。プライベートでは、小2と幼稚園年中のお子さん二人の世話を楽しんでいる。

バス観戦が趣味で、富山県のプロバスケットボールチーム「富山グラウジーズ」の試合をよく見に行っており、最近ではテレビでも応援している。

マンガも大好きで、おすすめは羽海野チカ先生の『3月のライオン』。

メッセージ

「様々な技術が世の中にありますが、その中でもNutanixはお客様に安心してご利用頂ける製品だと思います。IT環境の最適化をお客様と共に今後も進めたいと考えていますので、是非ご相談下さい。」

〈Nutanix 日本パートナー探報〉とは、ニュータニクス・ジャパンのパートナーの皆さまの特徴や事例をご紹介するシリーズ記事。Nutanixご導入時にぜひご参考ください。現在、日本全国のパートナー様をご紹介すべく、鋭意取材並びに記事作成中です。取材をご希望のパートナー様は、弊社担当にお問い合わせください。